

2024 年度
ニチキッズ柏の葉キャンパス保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025 年 1 月 19 日（月）～2 月 14 日（火）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月17日（月）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ、おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、一人ひとりへの関わりの理解を深め、個々の特徴を知り一緒に楽しむ事を心がけながらおもいっきり保育することができた。子ども達の考える力を引き出すため、問いかけてみることでそれぞれ答えを見つけられるように全職員で促せた。
子どもの発達援助	子ども達の興味、関心や成長に合わせた保育計画を立案し、目の前の事だけにとらわれず、柔軟に保育ができるように意識した。日々の保育を振り返りながら、子ども達への声がけの工夫や対応の仕方を身につけていく。
保護者に対する支援	連絡帳や朝夕の送迎時に子ども一人一人の様子について積極的にお伝えした。また子育ての相談にも丁寧に傾聴し、アドバイスすることを心がけるよう努めた。引き続きこまめにコミュニケーションをとっていき、職員間で共通理解を深め、より丁寧な対応をしていく。今後も保護者の気持ちに寄り添い保護者支援をしていく。
保育を支える組織的基盤	外部研修に参加することで専門性を学び、他園との情報交換を行い、新しい知識を得ることができた。自園に持ち帰り、研修内容の共有をすることでこれからも保育の質の向上に努めていく。

総評
前年度とまた違った職員配置のなかで、職員の連携やコミュニケーションにおいて、その都度改善を行いながら、子ども達との信頼関係を作ることが出来た。それぞれの保育観には違いはあるが「子ども達にとって最善とは何か」、大きな課題を考えながら保育計画を立てる事が出来た。それにより個々に合わせた保育が行うことが出来た。次年度に向けては、今年度の反省を踏まえて「報告」「連絡」「相談」を密に行い、情報共有をし、職員同士、積極的に発信していき引き続き丁寧な保護者対応に努め、子ども達が安心して生活できる園作り及び保護者の方々の安心に繋げていく。